

2022年度あかしSDGsパートナーズ実績報告書

様式 3

No. 80 明石浦漁業協同組合

記入日 2023年(令和5年)4月1日

1. 2030年までに達成したいこと	今まで利用されていなかった水産資源を活用して、商品開発をすることで廃棄物を削減する。減少している海洋資源の回復を目指すため、海の中の栄養分を増やすための活動を行い、豊かな海を取り戻す。	3. 関連するゴール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
2. 取組の概要	①水産物の下処理の際に出る内臓や骨、市場価値の低い水産物等、現在、廃棄物となっているものを有効活用する。②海洋資源減少の理由は、海中の栄養分の不足だと言われているため、栄養分回復の取り組みを実施し、その効果を検証する。		10	11	12	13	14	15	16	17		
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. 主な取組の達成状況							
(1)	大学等研究機関・加工業者・飲食店などと連携・協力して、内臓を使った魚醤、骨を使った商品、市場価値の低い小さな魚を使った缶詰などの商品開発をし、明石土産の創出を行う。	①目標値		②当初値	③実績値		達成度
		商品の完成	5 商品	0 商品	0 商品	商品	
		2030年度	2020年度	2022年度	2023年度		
(2)	定期的に海底耕耘(※)や施肥を実施し、その前後の海中の様子を確認して有効性の検証を行う。また、その内容を動画撮影し、取り組みの様子や成果を一般に公開する。 ※海底耕耘とは海底を耕すことで窒素やリンを放出し、生物が生息しやすい環境を作るために行う。	①目標値		②当初値	③実績値		達成度
		動画の公開	5 作品	0 作品	0 作品	作品	
		2030年度	2020年度	2022年度	2023年度		
(3)		①目標値		②当初値	③実績値		達成度
			2020年度	2022年度	2023年度		

5. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> あかしSDGs推進助成金を活用して連携企業等を探し、商品開発に着手する計画を立てていたが、同助成金の交付が叶わず、着手に至っていない。 海底耕耘や施肥等は実施したが、海中動画の撮影、成果の公開には至っていない。 	問合せ先 団体名：明石浦漁業協同組合 担当課：総務部 電話：078-912-1771 メール：doi@akashiura.or.jp 担当者：土井 祐介
---------	--	--

6. 今後の課題と取組	<ul style="list-style-type: none"> 関係企業を探す企業を訪問する交通費、商品開発費用等が見込めれば明石土産創出に向けて取り組みを再開したい。 海底耕耘、施肥投入後の効果を動画データと共に蓄積し、一般公開に繋げたい。 	連携希望 なし
-------------	--	----------------